

コンプライアンス基準

ダイトケミックス株式会社

第1章 総則

1. 法令等の遵守

わたしたちは、各国・地域の法令、社内規程類、社会規範等を遵守します。また、事業活動を行うにあたっては、業法を確認のうえ、必要な許認可等を取得する等、その内容を十分に理解し、各種業法を遵守します。

2. 社会人としての自覚と行動

わたしたちは、企業倫理を重視し、常に社会人としての自覚を持ち、良識と責任を持って行動します。

第2章 社員との関係（働きやすい職場環境のために）

1. 基本的人権・多様性の尊重

- (1) わたしたちは、あらゆる事業活動の場面において、基本的人権と多様性を尊重し、出生、国籍、人種、民族、信条、性別、性的指向、婚姻、妊娠、疾病、年齢、社会的身分等の理由による差別的取り扱いを一切行いません。
- (2) わたしたちは、いかなる雇用形態を問わず、児童労働や強制労働等の非人道的な行為を認めません。

2. ハラスメント

わたしたちは、ハラスメント（セクシャルハラスメント、パワーハラスメント等）とみなされる行為、発言等を行いません。

3. 職場の安全衛生

わたしたちは、労働基準法、労働安全衛生等の労働関係法令、社内規程等を遵守し、労働災害の防止と疾病予防、健康の保持・増進に努め、良好な労働環境の維持・改善を図ります。

4. 個人情報の保護

わたしたちは、社内を問わず社外関係者等も含めた個人情報を適切に管理・保護します。

5. 政治・宗教活動の禁止

わたしたちは、就業時間中に政治活動や宗教活動、その他の勧誘活動を行いません。

第3章 会社・会社財産との関係（会社財産保全のために）

1. 利益相反行為の禁止

わたしたちは、会社の正当な利益に反する行為または会社の信用、名誉を害する行為は行いません。

2. 秘密情報の管理

わたしたちは、在職中のみならず退職後も、会社および取引先等の秘密情報を厳重に管理し、第三者および業務上必要としない社内役員・社員にも開示しません。

3. 会社資産等の不正使用禁止

わたしたちは、会社の施設、物品、データ等の資産等を自己の利益のために不正に使用せず、職務遂行のために使用します。

4. 情報の保護・管理

- (1) わたしたちは、情報セキュリティに関する法令、社内規程等を遵守し、情報資産を適切に管理します。
- (2) わたしたちは会社の情報システム等を職務遂行に使用し、ID・パスワード等は厳重に管理し、情報漏洩を防止します。

5. 知的財産権の保護

わたしたちは、他者の知的財産権を尊重し、故意に侵害または不正に使用しません。

6. 適正な会計処理

わたしたちは、法令、諸規則、社内規程等に基づき、適正・適法な会計・税務処理を行います。

7. 適正な記録と報告

わたしたちは、事業活動に関する記録・報告を適正かつ迅速に行い、適正に保持・保管します。

第4章 社会との関係（社会の一員として）

1. 保安・防災

わたしたちは、化学物質の適切な製造、貯蔵、移動、その他の使用等を行い、事故災害の発生を防止するとともに、有事の際には拡大防止に努め、安全を確保します。

2. 環境保全

- (1) わたしたちは、製品の開発から生産、販売、使用、廃棄に至るすべての段階において環境への影響を低減し、環境に関する条約・法令等を遵守したうえで、環境保全・保護に努めます。
- (2) わたしたちは、環境意識の向上を図り、省エネルギー・省資源に取り組むとともに、地球温暖化の防止、資源の再利用等の推進ならびに廃棄物の削減等に取り組みます。
- (3) わたしたちは、特定化学物質の使用禁止または制限に関する法令等を遵守し、顧客の要望に応じた化学物質の適正管理を行います。

3. 安全保障貿易管理

わたしたちは、国際取引を行う場合、国際条約や貿易関係法令等を遵守し、適切な輸出入手続きを行います。

4. 寄付行為・政治献金規制

わたしたちは、各種団体等への寄付および政治献金等は、事前にその必要性、妥当性を十分に検討したうえで、関係法令等を遵守し、正規の方法に則って行います。

5. 反社会的勢力との関係遮断

わたしたちは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、一切の関係を持ちません。

第5章 顧客・取引先等との関係（顧客・取引先等に対して）

1. 製品・サービスの安全性

わたしたちは、顧客に満足していただける製品・サービスの提供に努め、その安全性および品質に配慮した活動を行います。

2. 公正な取引

- (1) わたしたちは、すべての取引先との間で公正な競争を維持するため、独占禁止法、下請法等の各種競争法を遵守します。
- (2) わたしたちは、カルテルや談合、優位性地位の濫用等の不当・不公正な取引をしません。

3. 購入先との適正取引

- (1) わたしたちは、購入先や業務委託先等を選定する場合は、安全、価格、品質、納期、経営状態等を総合的に評価し、関係法令等に従い、適正な取引を行います。
- (2) わたしたちは、紛争鉱物規制に係る児童労働や強制労働等の人権侵害行為や環境破壊行為を認めない観点から、購入先から情報収集を行い、責任ある調達活動を行います。
- (3) わたしたちは、わたしたちの方針を購入先にも理解いただき、サプライチェーンを通じたコンプライアンスの徹底に努めます。

4. 適正な接待・贈答

- (1) わたしたちは、顧客、取引先等との接待、贈答品の授受に関して、社会的常識の範囲を逸脱する行為は行いません。
- (2) わたしたちは、各国の公務員等に対して贈賄行為を行いません。また、営業上の不当・不公正な利益を得るための利益供与、接待、贈答品提供等の行為を行いません。

第6章 株主・投資家等との関係（株主・投資家等に対して）

1. 企業情報の開示

わたしたちは、株主・投資家等に対し、経営内容、事業活動状況等の企業情報を関係法令等に従い、適時・公平かつ正確に開示します。

2. インサイダー取引の禁止

わたしたちは、未公表の内部情報を利用した株式等の売買や、当該情報を第三者等に提供しません。